

鉄輪温泉ゆうぐれ散歩

大分県内で最長の石畳を歩きながらONSEN文化たどる鉄輪の生活を見てもらい、時間が止まっていると形容される町で心を癒していただきたいと思います。

地獄蒸し釜



江戸時代中期に、温泉の噴気を利用して調理をしていました。今も鉄輪では日常で使われています。野菜も海鮮もほくほくに。

④鉄輪むし湯



一遍上人が築造した当時の面影をほぼそのまま残しています。敷き詰められた石畳の薬効が噴気を通して体を癒してくれます。

鉄輪の町並みや湯煙が一望できます。

②竹製冷却装置



以前は10時間かけて冷ましていた100℃近い源泉が、わずか数十秒で46～47℃に。県の特産品である竹で作った冷却装置。

③鉄輪銀座

湯治客のための衣類・食料品(魚・野菜など)を扱う、昔ながらのお店が並びます。昭和初期の町並みを残す通りです。

コース	①里の駅かんなわ「蒸de喜屋」→②竹製冷却装置→③鉄輪銀座→④鉄輪むし湯→⑤温泉山永福寺	お申込先 鉄輪湯けむり倶楽部 TEL: 0977-66-0527(河野)
開催日	毎週土・日曜日(前日まで要予約)	
開催時間	出発16時	
集合場所	ホテル風月ハモンド入口里の駅かんなわ「蒸de喜屋」別府市鉄輪北中1組	
参加費	500円(おやつ付き)	